

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年01月27日

計画の名称	大分県交通・物流を支える強くしなやかな道路ネットワーク等の整備													
計画の期間	令和05年度～令和07年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	大分県													
計画の目標	大分県内の交通・物流・道路ネットワークを整備し、早期に効果を発現させることにより、災害時等にも地域の輸送等を支える強靱な道路を整備するものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		39,890	A	39,890	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R6	R7
1	道路斜面や盛土等の要対策箇所の対策率			
	道路斜面や盛土等の要対策箇所の対策率	0%	36%	64%
	要対策箇所の対策率（％）＝対策済箇所数 / 要対策箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・大分県地域強靱化計画に基づき実施されている要素事業：A01-001～A01-011 ・九州周防灘地域定住圏共生ビジョンに基づき実施されている要素事業：A01-006他 ・日田市定住自立圏構想に基づき実施されている要素事業：A01-009他 ・大分都市広域圏域ビジョンに基づき実施されている要素事業：A01-002他												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	改築	(国)387号・川底工区（強 靱化）	現道拡幅・バイパス L=0.5k m	九重町	■					1,210	1.1	策定済
	A01-002	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	改築	(国)197号・大志生木拡幅 （強靱化）	現道拡幅 L=1.7km	大分市	■	■	■			4,000	1.4	策定済
	A01-003	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	改築	(国)388号・畑野浦～楠本 バイパス（強靱化）	現道拡幅・バイパス L=7.4k m	佐伯市	■	■	■			14,250	0.4	策定済
	A01-004	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)緒方高千穂線・上冬 原工区（強靱化）	バイパス L=1.2km	豊後大野市	■					710	-	策定済
	A01-005	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)緒方朝地線・上尾塚 工区（強靱化）	現道拡幅 L=1.2km	豊後大野市	■	■	■			800	-	策定済
	A01-006	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)豊後高田安岐線・小 田原工区（強靱化）	現道拡幅 L=1.0km	豊後高田市	■	■				490	-	策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)四浦日代線・仙水工 区（強靱化）	現道拡幅 L=0.6km	津久見市	■	■	■			995	-	策定済
	A01-008	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)三重新殿線・牟礼前 田工区（強靱化）	バイパス L=3.0km	豊後大野市	■	■	■			5,100	2.3	策定済
	A01-009	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	改築	(国)387号・豆生野拡幅（ 強靱化）	現道拡幅 L=1.7km	日田市	■	■	■			2,000	0.9	策定済
	A01-010	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)天瀬阿蘇線・下笠工 区（強靱化）	現道拡幅 L=0.1km	日田市	■					580	-	策定済
	A01-011	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)栃野西大山線・中津 江工区（強靱化）	バイパス L=0.8km	日田市	■	■	■			3,610	0.5	策定済
	A01-012	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)天瀬阿蘇線・上袋工 区（強靱化）	バイパス L=1.0km	日田市	■	■	■			660	-	策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-013	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)三重弥生線・小半工 区（強靱化）	バイパス L=0.5km	佐伯市	■	■	■			1,460	0.5	策定済
	A01-014	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)豊前耶馬溪線・大野 4 工区（強靱化）	バイパス L=0.4km	中津市	■	■	■			730	-	策定済
	A01-015	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)戸畑日田線・月出町 工区（強靱化）	バイパス L=0.4km	日田市	■	■	■			500	-	策定済
	A01-016	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)古江丸市尾線・葛原 ～ 丸市尾工区（強靱化）	現道拡幅 L=0.7km	佐伯市	■	■	■			990	-	策定済
A01-017	道路	一般	大分県	直接	-	国道	修繕	(国) 212号・樋田2工区	法面对策（N = 1 箇所）	中津市	■	■	■			200		-	
A01-018	道路	一般	大分県	直接	-	国道	修繕	(国) 388号・8工区	法面对策（N = 1 箇所）	佐伯市	■	■	■			50		-	
A01-019	道路	一般	大分県	直接	-	都道府 県道	修繕	(主)山香国見線・赤根4 工区	法面对策（N = 1 箇所）	国東市	■	■	■			50		-	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-020	道路	一般	大分県	直接	-	都道府 県道	修繕	（主）竹田直入線・1工区	法面对策（N＝1箇所）	竹田市	■	■	■			30		-
	A01-021	道路	一般	大分県	直接	-	都道府 県道	修繕	（主）緒方朝地線・大恩 寺大橋工区	耐震補強 2 橋	豊後大野市	■	■	■			500		-
	A01-022	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	（一）九重野荻線・瓜作 工区（強靱化）	現道拡幅 L=0.77km	竹田市		■	■			275		策定済
	A01-023	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	改築	（国）442号・久住拡幅 工区（強靱化）	現道拡幅 L=2.1km	竹田市			■			700		策定済
											小計						39,890		
										合計						39,890			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	1,446	1,795			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1,446	1,795			
前年度からの繰越額 (d)	453	564			
支払済額 (e)	1,335	1,488			
翌年度繰越額 (f)	564	871			
うち未契約繰越額(g)	27	502			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	1.42	21.28			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		一次補正予算の配分によるため			